



# 相談室だより

2024年 10月



夏の入道雲に変わって、うろこ雲やひつじ雲が浮かぶようになった空は、ずいぶん高くなりました。さわやかな風が吹いて、やっと秋本番といったところでしょうか。実りの秋、色々な秋の味覚が店頭に並ぶようになってきました。極早生みかんも美味しくいただき、先日伊予農で購入させていただいた中山の栗も最高でした。スポーツの秋、読書の秋など、秋には色々な秋がありますが、私にとってはなんといっても食欲の秋です。

ところで先日、中学校で生徒たちと一緒に給食を食べているときに、ご飯を残している生徒がいたので、「お米を残すとバチが当たるよ」と言うと、「何それ？」という顔をされました。みなさんはそんな風に言われたことはありませんか？ 私は、両親や祖父母から「丹精込めて育ててくれたお米だから大事に食べなさい」と子どもの頃から言われてきました。

私の祖母は明治生まれの人で戦争中の食糧難を経験してきたためか、ずいぶん食べ物を大切にする人でした。ご飯を炊いたあと釜にこびり付いた米は、水でふやかして専用の袋に集め、洗濯のりにしていました。もう今では、釜に米がこびり付くこともなくて、洗濯のりもあまり必要としなくなったのですが…。残ったご飯を冷凍することが出来なかった頃、どうしても仕方なく余ってしまった米は、干して、炊って、水あめでからめてお菓子にしてくれました。懐かしい祖母の思い出です。

食べ物が豊富な時代になり、余れば廃棄、ということが長い間続いていました。しかしようやく、食品ロスを削減しようとする取り組みがあちこちでみられるようになってきました。農業高校で作物を育てる苦勞を知っているみなさんは、どんなに曲がったキュウリでも形の悪い大根でも大事に食べますよね。

命をいただくことへの感謝、作ってくれた人への感謝を込めた「いただきます」の言葉を大切にして、この秋いろいろな美味しい食材や食べ物を味わってみましょう。

教育相談室では、学校生活での悩み、家庭での悩み、生活行動上の悩み、生活の中での不安と、解決の手助けができたらと思っています。誰かに話を聞いてもらえるだけで、心が軽くなります。どんなささいなことでも気軽に相談に来て下さい。

スクールライフアドバイザーの来校日 原則火曜日（12:00 から 18:00）

相談室は、本館1階進路指導室隣

スクールライフアドバイザー 小松 泰子